

科目	どのような基準で学業成績の結果を出されましたか。提出された成績評価も踏まえてご記入ください。
L	人の意見をまとめただけのレポートよりは、自分の言葉できちんと考察されているレポートを高く評価した。この評価基準は、授業のはじめにきちんと説明した。
L	授業の最後に提出した小レポート、発表会での報告内容やギャラリーの反応、さらに期末レポートの内容を加味して、自らが設定した国際関係に関する課題に対してどこまで迫ることができているか、という観点で総合的に評価を行った。期末レポートに関しては、全体的には自らの力で調査・研究し、まとめることができていたように思われる。
L	授業中の課題レポートを中心に、質疑応答、授業への出席率などを加味して評価を行った。
L	教員が指示した課題(提出締切等を含め)をすべて満たしたかどうかを単位認定の基準にした。講義の中で繰り返し指示・説明を行ったため、出席している学生の多くが単位認定の基準を満たしており、満たさなかった学生には個別に理由を説明し、学生の納得を得た。各評価に関しては、講義を踏まえ、学生自身が問題提起をし、最適と思われる方法を経て、自身の意見を醸成しているかを基準に判定した。講義内での説明に終始してしまう、まとめの域を出ない学生に対しては(単位認定されたものの)少々手厳しい判定になった。
L	プレゼンテーションの内容で成績を出しました。一部ですが、授業態度の悪い学生の評価は低くしました。
L	指定した古典のテキストから選択(各自)して、それを事前に読ませた。ある答案にあったように、この時間は新しい知識は増えないが、きちんと考えを深める訓練になる、ことを意図していた。テキストを事前に読みながら、各自の経験が踏まえられているかを、採点の基準とした。全体として出来が良かったと思う。
L	成績の基準は中間テスト40%期末テスト60%。
L	提出したレポート50点、授業のコメント50点の計100点満点で評価した。 ・多様な自然現象や進歩する科学技術を理解するために、自然科学の基本的な知識や概念を理解しているか。 ・知識や概念を活用する能力があるか。 ・科学技術に深く根ざす今日の社会を生き抜くために、科学や技術に関わる政策や日常生活に関する問題に興味・関心を持ち、意思決定や行動をする力を身に付けられたか。
L	出席、レポート、試験結果を総合的に判断した。
L	出席、授業態度、レポート内容、作品の出来倍(自分の工夫)や締め切りの守りかたなど。
L	出席を含めた受講態度と期末課題の完成度を併せて総合的に評価した。特に期末課題では、どれだけ対象相手を意識したものになっているか、という点とアイデアの独自性に重点を置いて評価した。
L	レポート・日々の態度・出席回数をシラバスに準じて、各学生の成績を出しました。
L	レポート4回(口頭発表の担当者は3回)と授業内で書かせた小レポートの内容で評価した。ネットからの情報を整理もせずただ引用するのを避けるため、レポートはすべて手書きで書かせた。字がきたなくて読みにくいレポートもあったが、次回からは字の読みやすさも評価の対象としたい。 レポートでは主として、本やネットで得た情報が整理されているか、論理的にまとめられているか、を中心に評価した。小レポートでは、女ことばや方言使用など誰でも回答できるアンケート風の課題が多かったが、読む人が納得できるような説明がされているかどうか、を評価した。
L	5回の課題レポートと2回の授業内レポートの成績の合計。 不合格者の多くは、レポートの提出が3回未満であった。 評価はSとAで30%、Bが22%、Cが27%で、適当な分布であると考えている。

L	授業内容に関する試験の結果で判定した。また、勉強しやすいように出題予定問題をある程度予告しておいた。
L	出席、発言、課題提出、ワークショップへの参加を踏まえた、総合的な参加態度を一番重視した。次いで、中間及び最終課題レポートの質が本授業の目標に合致しているか否かを考慮し、成績を決定した。
L	筆記試験の成績、2回分のレポートおよび出席状況を各々40%、40%および20%の配分で採点して、3つの採点結果を合わせて評価して成績を出した。
L	試験は選択式の試験を実施した。授業の全範囲から出題した。試験に際して持ち込みは一切認めなかったため、あらかじめ学びネットにアップしている講義資料をもう一度しっかり学習しておくように指示した。選択式(マークシート方式)であるため、難易度としては難しいものではないと考えている。他に欠席をその日数に応じて減点した。約7%の者が不合格となった。